

2024 年度事業報告

特定非営利活動法人 ネパール・ヨードを支える会

1. ネパール留学生の生活費援助

- ・金額 100 万円を(株)フジッコより援助いただく。(3 回目最終)
- ・アジア協会アジア友の会を通じて支払い

2. ネパール留学生の主な動向

① ルビ バッタライさん、レジマ タパ マガールさん

二年間の日本語学習の後、栄養士資格獲得を目指して下記専門学校に入学（2024 年 4 月）
京都栄養医療専門学校（京都市右京区嵯峨天龍寺瀬戸川町）

② ビシマ ライ さん

- ・甲子園大学（宝塚市紅葉ガ丘）栄養学部ドクターコース
- ・ヨード過剰摂取による甲状腺疾患や代謝機能の変化を監視するためマウス実験
- ・日本生化学会の会議で研究発表
- ・能登被災地へボランティア参加（三人揃って）

3. 理事会にて当 NPO の今後の進め方について検討を行った

次の点において各理事のコンセンサスを得た。

① 基本方針

社団）アジア協会アジア友の会とコラボレーション活動をするを基本とする

具体的にはアジア協会アジア友の会の「ネパール栄養士育成事業」に対し、ネパール留学生の教育支援は京都西南ロータリークラブが担当し、日本滞在の生活支援は当ネパールヨードを支える会が担当して 3 年が経ちました。

ネパール留学生が日本栄養士資格を獲得した暁には、カトマンズ栄養アカデミー（仮称）の開設予定をしており、このアカデミーの設立と運営面で、ロータリークラブと当 NPO が両輪となって事業の支援活動を行う

② 当 NPO は次の点に絞って支援活動を行う。

- ・栄養士資格に必要な基礎知識に対して、必要な情報の提供
- ・都市部、農村に於ける食事生活の問題点の把握のための調査活動
ヨードを切り口に微量栄養素摂取の過不足と健康状態に焦点
- ・情報の収集に当たっては、テーマによっては現地 NPO 法人 PHIDReC（公衆衛生感染症調査センター）とタイアップする

③ 組織の強化

- ・会員の高齢化に伴い、法人会員の増加（3 法人）
- ・新理事として；熱田典子マッラの参加を要請 y
- ・機関誌・SENID ニュースの継続と内容充実

4. SENID ニュース 2024（年 1 回）発行

- ・ ホームページに SENID ニュースのファイルを新設
- ・ 会員及び外部関係者に主な活動内容が一括して分かるように一つのファイルを設定
- ・ 会員の増員のキッカケづくり

5. カレンダー2025 を制作

- ・ 会員への絆づくり
- ・ 資金作り
- 。・ PR 一般 などを目的として継続制作

以上